

上部頸椎専門 1

カイロプラクティック 臨床レポート

新連載

日本上部頸椎カイロプラクティック協会正会員

天野 克彦*

上部頸椎専門カイロプラクティックはその名のとおりに、アジャストメントの対象を上部頸椎（第一頸椎もしくは第二頸椎）と限定しています。故に一般には頸部の症状を専門とする治療法と思われるかもしれませんが。治療家の先生方からは身体全体を診る必要性のご指摘を受けるかもしれません。そしてカイロプラクティックを専業とされている先生方には、BJパーマーが1930年に提唱したHIO学説の当時の科学レベルを現代に適用するのは無理があると、いささか時代錯誤のテクニックとして映っているかもしれません。

そこで、過去に腰部の椎間板ヘルニアの手術を受けられており、ヘルニア再発ということで来院された方の臨床例を報告させていただきます。

アジャストメントは上部頸椎一箇所のみ。脳からの神経伝達が良くなることにより、時間と共に患者さん自身の力で自然治癒していくことが分かります。症例に入る前に、上部頸椎専門カイロプラクティックの臨床上のルールを記します。これはカイロプラクティック哲学に基づいています。

1. 病気・症状の診断、治療は行いません。

アジャストメント後は自らの身体に内在するイネイトインテリジェンス（先天的知能）による診断、治療に委ねて、施術者はそれを見届ける形となります。つまり今回の症例においても椎間板ヘルニアを治すことが真の目的ではありません。上部頸椎の

サブラクセーションが取れ、イネイトが必要に応じて身体を再建していきます。症状の改善はその結果ということです。

2. 必ず検査を行い、上部頸椎のサブラクセーションの有無を確認します。

検査は姿勢分析、重心測定、脊柱両側の皮膚温度測定、レッグチェック、その他サ

*天野克彦（あまの・かつひこ）

●連絡先：天野カイロプラクティック・オフィス
〒168-0064 東京都杉並区永福4-2-10-101
TEL&FAX. 03-3327-0540
協会HP： <http://www.specific.jp>

ブラクセーションの有無を確認する為に細部に渡り調べて行きます。

3. 検査の結果、上部頸椎にサブラクセーションがなければ、アジャストメントは行いません。

検査に問題がなければ、症状に変化がないと言われても何もしないで様子を見ていただきます。

傷がすぐ塞がらないように治癒するには、それに応じた時間が必要だからです。この時間を待てない方はどうしても対症療法に頼ってしまいがちですが、出来ればしばらくの間は何もせず、様子を見て頂きたいものです。物質の限界に至ってない限り、時間は掛かるかもしれませんが、イネイトは、患者さん自身を生かしている根源ですので、その期待を裏切ることはないでしょう。

4. 他の療法との併用、健康器具を使用しないで様子を見て頂きます。

コルセット、テーピング、湿布、薬の服用、その他症状に合わせた治療法は確かにその症状に対しては有効かもしれませんが。しかし上部頸椎専門カイロプラクティックは対症療法ではないため、それらの治療や物理療法は身体にとっては単なる刺激になってしまいます。その為、アジャスト後はそれらの使用を控えて頂きます。薬の服用に関しては強制しませんが、自然治癒の確認の為に、我慢できればなるべく薬品等

は服用せずに様子を見て頂きます。

□症例□

腰部椎間板ヘルニアと診断された男性

性別：男性 年齢：32歳 職業：美容師

- ◆平成12年 左足に痛みと痺れが現れる。整形外科にて腰部椎間板ヘルニアと診断を受ける。その後、椎間板ヘルニアに対して、様々な治療を受ける。
- ◆平成15年 右足に痺れと痛みが現れる。椎間板ヘルニアの手術（L5、S1間）を受ける。
- ◆平成16年4月 整形外科にてX-RAYに異常あり。ヘルニアの再発が確認される。
- ◆平成16年10月26日 両足に痛みと痺れがあるという事で来院。

当時、整形外科に通院中。腰部に医療用コルセット着用。湿布の使用。

過去にカイロプラクティック、鍼灸、整体、接骨、気功の受診歴あり。

初回・来院1回目 2004.10.26

●アジャスト前の検査

伏臥・仰臥共に左足が2cm短い。

仰臥における両手挙上で左手が2cm短い。

伏臥にて右大腿挙上不可。

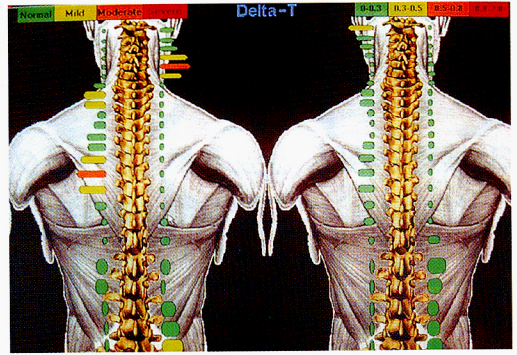
仰臥における右膝立位における大腿外旋にて右腰部に痛み。

上部頸椎リステイング AILP でアジャストして、休息用ブースで40分間休ん

でいただく。

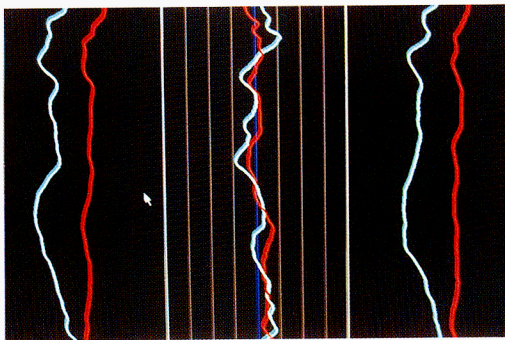
●アジャスト後の検査

伏臥・仰臥共に足の長さが揃う。
 仰臥における両手拳上で手の長さが揃う。
 伏臥にて右大腿拳上不可：変化なし。
 仰臥における右膝立位における大腿外旋にて右腰部に痛み：少し楽になる。



アジャスト前 アジャスト後
1回目 04.10.26

アジャスト前後の
脊柱両側の皮膚温度変化



1回目 04.10.26

●アジャスト前：波形① 青色

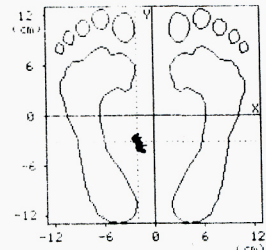
脊柱両側において温度が高い方へ波形が振れている。

●アジャスト後：波形② 赤色

温度差がなくなり波形がストレートに近づいているが、上部頸椎部のパターンはまだ残っている。

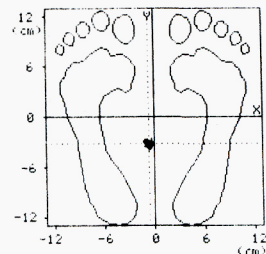
温度の高い方のバーの横幅が広がる。
アジャスト後、上部頸椎部は逆転し全体的に揃ってきている。

アジャスト前後の重心の変化



DEV OF MX	-2.19 cm
DEV OF MY	-3.23 cm
DEV OF X0	-1.90 cm
DEV OF Y0	-3.45 cm

アジャスト前



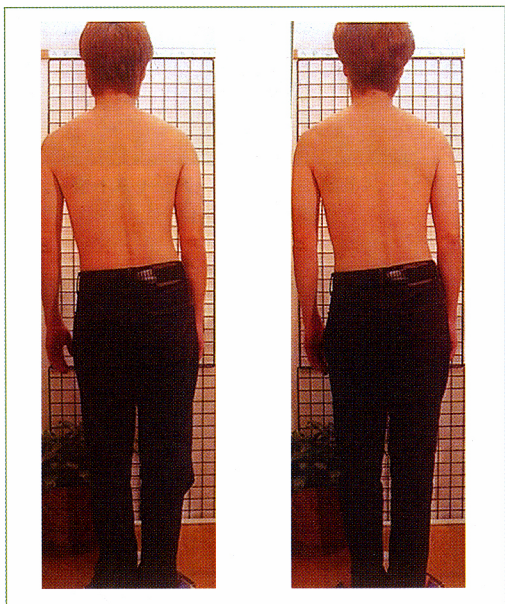
DEV OF MX	-0.67 cm
DEV OF MY	-3.34 cm
DEV OF X0	-0.69 cm
DEV OF Y0	-3.33 cm

アジャスト後

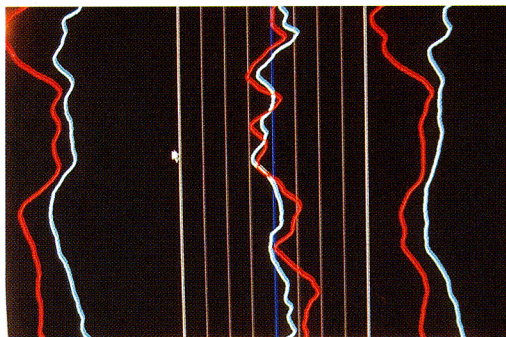
アジャスト後、重心が前方、中心へ移動していることが確認出来る。

仰臥における右膝立位における大腿外旋にて右腰部に痛み：前回と同様にあり。

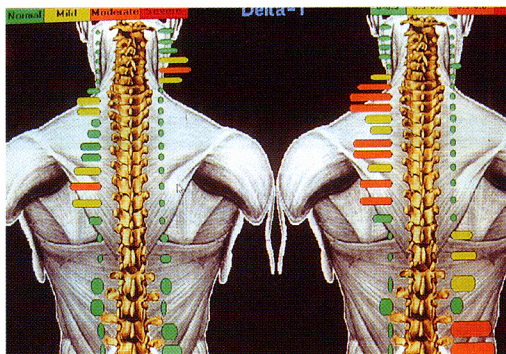
アジャスト前後の姿勢の変化



次回の検査まで他の治療は受けず、極力コルセットを使用しないで様子を診ていただくことを告げる。



2回目 04.11.15



アジャスト前 アジャスト後
2回目 04.11.15

2回目 2004.11.15

前回アジャストより20日後

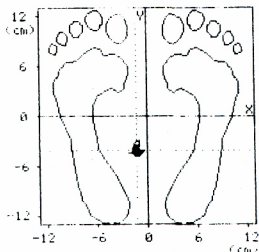
患者さんの言葉：ゆっくり足は挙がる感じ。(前回は足を引きずっていた。) 痛み・痺れに変化はない。

●検査

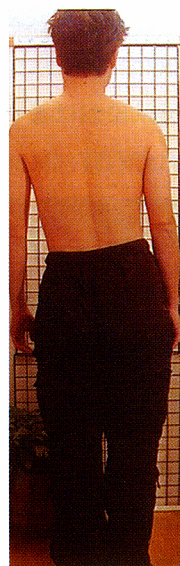
伏臥・仰臥共に足の長さが揃っている。

仰臥における両手挙上で手の長さが揃っている。

伏臥にて右大腿挙上：少しだけ挙がるようになる。



DEV OF MX	-1.32 cm
DEV OF MY	-4.19 cm
DEV OF X0	-1.47 cm
DEV OF Y0	-3.96 cm



全体的に初回時の波形に戻っているが上部頸椎部の波形は変化している。温度差のバーもアジャスト前より強く出ているが、頸椎部では温度差がなく、上部頸椎部では逆転している。重心と姿勢も前回のアジャスト前に少し戻ってきている。しかし、上部頸椎部のサブラクセイションパターンがないこと、手足の長さが揃っていることからアジャストはしないで様子を見て頂く。

2回目 2004.11.15 ノーアジャスト

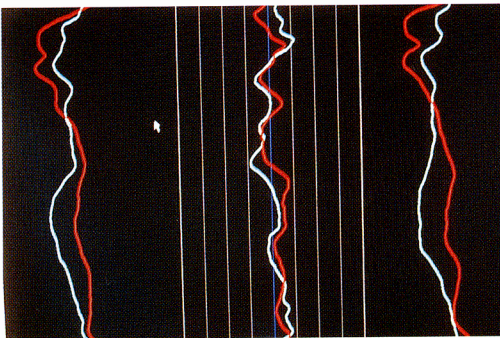
3回目 2004.12.14

初回より約1ヶ月半後

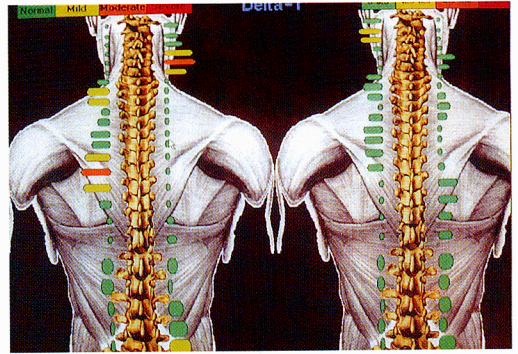
患者さんの言葉：少しは楽になる。痛み、痺れは依然ある。

●検査

伏臥・仰臥共に足の長さが揃っている。
 仰臥における両手拳上で手の長さが揃っている。
 伏臥にて右大腿挙上：少しだけ挙がるが重い。
 仰臥における右膝立位における大腿外旋にて右腰部に痛み：消失。

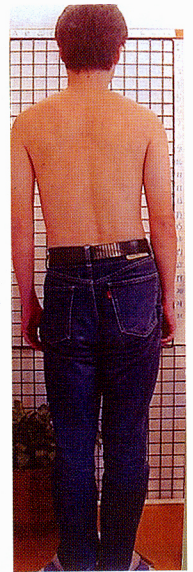
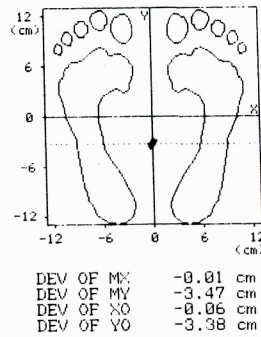


3回目 04.12.14



アジャスト前 アジャスト後

3回目 04.12.14

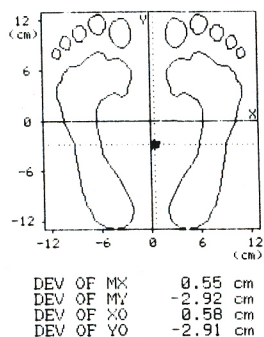


今回もサブラクセイションパターンは出ていない。温度差もなくなり、重心も前方中心へ移動し姿勢も改善がみられる。

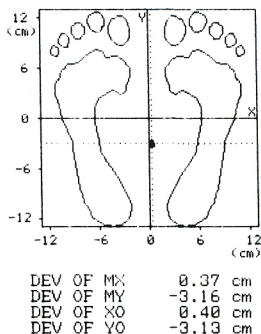
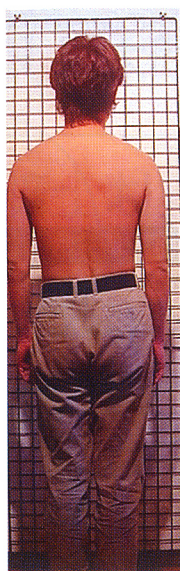
3回目 2004.12.14 ノーアジャスト

今回のケースでは初回アジャスト後4ヶ月で当初の痛みや痺れは消失し、その後の検査においても上部頸椎のサブラクセイションパターンの再現はなく、左手足が2cm短くなることも、サブラクセイション

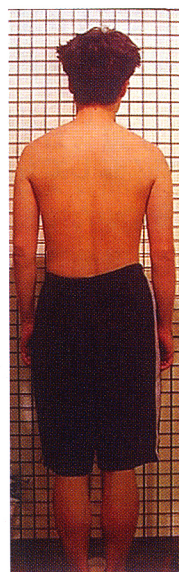
時の特徴である左後方に重心が戻ることもありませんでした。時間の経過と共に姿勢も変わってきています。患者さんも以前のようにコルセットを着用し、腰痛の治療を受けることも無いとの事です。



05.3.1

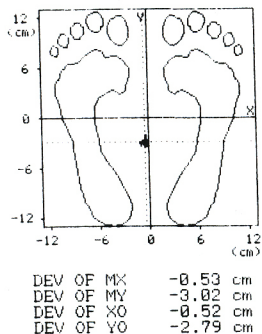


05.8.2

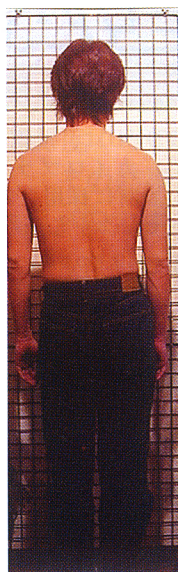


～施術者コメント～

私は上部頸椎専門カイロプラクティックに出会うまで鍼灸・マッサージを始めとして様々な治療法を学び、患者さんの訴える症状に合わせて施してきました。自然治癒力を謳いながらも何らかの形で物理的的刺激を与える臨床を続けていたのです。今考えれば自然治癒力とはどういうことなのか、良く分からなかったのでしょうか。カイロプラクティックでは自然治癒力とは脳神経系を通して働くと明言し、その伝達妨害（サブラクセイション）を取り除く為にアジャストします。何と分かりやすい原理でしょう。そして脳に一番近い椎骨、つまり上部頸椎が主たる原因と知った時、この方法こそが自然治癒力で健康回復を促せると直観しました。なぜなら調整が一箇所だからで



05.4.5



す。それが間違っていたら何も効果は得られず、理論的にも確立しないからです。以前行っていた対症療法でしたら、症例の患者さんにしても何度足を運んで頂くことになっていたでしょうか。日々の臨床にて患者さんを通して自然治癒力の素晴らしさに感動しています。上部頸椎専門カイロプラ

クティックはカイロプラクティックの哲学・科学・芸術を明確にしたものです。かつてBJパーマーがこう言ったように・

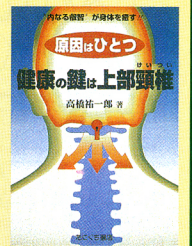
「カイロプラクティックはスペシフィック以外の何ものでもない。」

げんいん けんこう かぎ じょうぶ けいつい
原因はひとつ 健康の鍵は上部頸椎

高橋祐一郎著/B6判/290頁/本体2,000円+税

上部頸椎のみをアジャストの対象とするスペシフィックカイロプラクティックによって、大きな成果をあげている筆者による力作。約3年にわたって『月刊手技療法』に連載された臨床例に加え、スペシフィックカイロプラクティックが分かりやすく解説されている。

申込み問合せ：たにぐち書店



●お申込み・お問合せ▶たにぐち書店

ホームページ <http://t-shoten.com>

本店 〒171-0014 東京都豊島区池袋2-49-1
 フリーダイヤル **0120-811-813**

フリーFAX **0120-811-817**

神保町店 〒101-0051 千代田区神田神保町2-3 神田古書センター5階

TEL. 03-3511-8045 FAX. 03-3511-8047